

令和6年度(令和5年度実績) 総合評価書 <施設名 発達支援センター ひまわり>

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 児童発達支援事業及び基本的動作指導、適応訓練、相談・検診・育成支援 心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。 (2) 施設及び設備の維持管理

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (一点)	①施設の利用率 (利用時間/日数×営業時間)	施設の特性から評価対象外の項目			
		②利用人数	施設の特性から評価対象外の項目			
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(20点)	20	仕様書以上：20～16点、仕様書に忠実：15～12点、仕様書の一部不実施(軽微)：11～9点、仕様書の一部不実施(中程度)：8～4点、それ以下：3～0点	・別紙の事業評価表のとおり	仕様書以上 18点	日々の個別療育に加え、課題となっていた小集団療育も適切に実施されており、着実に成果を挙げている。前年の内容の見直しや工夫により、総じて前年の内容より充実した療育や事業が実施されている。こまめな見直しを行い子ども一人ひとりに寄り添った療育を提供し、保護者についても細やかな配慮を行い不安の解消等に努めている。
(3)自主事業の企画・運営・実施(20点)	20	内容・事業数等が期待以上：20～16点、内容・事業数等が例年通り：15～12点、内容・事業数等が例年よりやや劣る：11～9点、内容・事業数等が例年より劣る：8～4点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る：3～0点	・別紙の事業評価表のとおり	内容・事業数等が期待以上 18点	日常の療育活動に加えて、個別の専門性の高い分野での相談や指導に取り組んでおり、有意義な事業展開が図られている。家庭の事情等に配慮し寄り添った支援が実施できている。園をはじめとした関係機関とも連携できており、幅広い支援体制の構築に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、イベントを介した地域との交流や、きょうだい児の託児などをコロナ禍以前と同様の水準・内容で実施することができた。各種会議・研修会・研究会に参加していることに加え、必要に応じて講師派遣を行うなど積極的に取り組んでいる。	18点

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
2 施設管理 状況 (25点)	(1)施設管理 業務の実施 状況(10点)	①清掃	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一 部不備あり:1点、不備あ り:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8 点、適正(普通):6点、一 部不備あり:4点、不備あ り2点	・職員によるセンター内の清掃 毎朝 ・療育後の玩具の消毒・療育室の清掃と消毒(午前1回、午後2回) ・清掃業務委託による館内清掃 週2日 ・床面ワックスがけ 年1回(8/17) ・園庭及び園舎周辺草刈り(随時、外部委託による草刈り年2回)	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検		・電気設備点検を年3回以上実施(8/7、12/27、1/31) ・職員による遊具の点検を週2回(月・金曜日)実施 ・業者による遊具の超音波保守点検を年2回実施(7/18、2/27)	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
		③保安・警備		・消防用設備等点検・外観及び機能点検を年2回以上実施(7/10、1/16) ・消防訓練を年2回実施(7/27、1/17)	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
		④小規模修繕		①消防設備修繕(音響装置・LED誘導灯・誘導灯パネル) 合計 49,500円	適正(普 通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・建物が老朽化しているため、危険のないようにこまめに修繕している。また、雨天時は雨漏りがするため、被害が拡大しないよう、その都度対応している。園庭及び園舎周辺の草刈り・樹木の剪定や害虫駆除をこまめに行っている。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
	(2)その他管 理業務の実 施状況(15 点)	①文書管理	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普 通):2点、一部不備あり: 1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・多治見市社会福祉協議会文書管理規程により、管理・保管。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	11点
		②環境への配慮		・空調の設定温度を適正なものとし(28℃)利用者にも協力を呼び掛けている。利用者・職員不在の部屋の消灯を徹底し、昼休憩時は事務室も消灯している。 ・パソコンは使用時のみ電源を入れる。 ・利用児の制作物や施設の掲示、教材の作成には廃材を利用している。また、会議の資料等をPCデータで共有することで、紙やインクの使用削減に努めた。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。 エコオフィスが徹底されており、ペーパーレス推進が図られている点が評価できる。	
		③バリアフリー		・保育園の跡地の為、全面的に整備されているとは言えないが、利用において不都合が生じないよう配慮・介助を心がけている。	期待以 上 3点	適正に実施されている。 老朽化によりバリアフリーが不十分な施設で、障がい児に事故がないよう配慮しながら療育に努めている姿勢は評価できる。	
		④備品管理		・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーにて適正に管理。破損備品は、報告の上廃棄処分。	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤個人情報保護		・年度初めに個人情報保護に関する職員研修の実施 ・個人情報や台帳は鍵付きロッカー・キャビネット収納 ・PCは暗証番号で管理し、ワイヤーロックを使用 ・USBにはパスワードを設定 ・USB・個人ケースファイル等個人情報は、施設外持ち出し禁止 ・個人情報取り扱いの見直しと様式の変更	適正(普 通) 2点	適正に実施されている。	
⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・事故なし	事故な し・対応 に不備な し 0点	事故なし	0点	

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点			
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満 ~100%:4点、100%未満:3 点	・ 58,693,074(収入)÷65,315,525(支出)×100≒89.9%	100%未 満 3点	配点基準に基づき評価	3点	
4	より良い 施設運営 のための 取組 (30点)	(1)市民・利 用者の声の 反映 (15点)	①ニーズの把 握・事業への反 映	10	期待以上:10~8点、適正 (普通):7~5点、不備あ り:4~1点	・ 保護者と担当との個別面談(1回/半年)、グループ懇談及びアンケート (2回/年)や日常的な会話から保護者の要望等を把握し、職員で検討、共 通理解し、必要に応じて改善を行うことで保護者の理解・協力を得て いる(感染症対策、保護者へのフィードバック中の利用児の安全確保や 登園・降園時刻の厳守等)。また、保護者アンケートからの質問や疑問 に関しては文書で回答し、掲示して周知を図った。 ・ 希望される方には管理者面談を随時実施。支援内容や今後の見通 し、事業所利用に関わる事(保育所等訪問支援事業について知りたい、 療育の内容や目的を確認したい、療育終了の目安やその手続き・流れ について知りたい、民間事業所の利用や医療機関の受診について知り たい等)や行事の実施、感染症対策に対する不安に対して個別に相談対 応した。 ・ 統合に向けて利用者説明会を実施(10/30、11/29)、また利用児保 護者全員と個別に面談し、利用者の事業内容の理解や不安の解消に務 めた。	期待以 上 8点	アンケート等の要望に対し速やかな対応ができています。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通): 4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	・ 特になし	期待以 上 5点	苦情なし	5点
	(2)より良い施設運営・事業実 施のための提案・姿勢、上記 1~3の評価に反映されない その他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果 ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、適 正(普通):11~9点、普通 未満~物足りない:8~0 点	・ 療育勸奨者で通園の希望があった場合は、できるだけ早く受け入れ、早期 からの療育支援につながるよう図ると共に、待機児童をなくした。 ・ H30年度より保育所等訪問支援事業を開始。支援の必要なお子さんも他 児と一緒に地域で育ち合っていけるよう、アウトリーチ支援を重点的に行っ ている。 ・ 令和3年度より、午前中の言語療法や作業療法の開始時刻を変更し、利用 者が通園しやすいようなプログラム編成を検討し、継続して事業運営につ いて検証している。 ・ 上原公民館まつりなど地域のまつりに参加したり、施設周辺の清掃や除草 の際に交流するなど、地域住民に福祉施設に対して理解と協力を得られる よう、積極的な交流を行っている。 ・ コロナ終息後も利用者が安心して通園できるように、利用者及び職員の体 調管理に配慮しつつ、任意での体温計測やマスク着用、消毒液の設置など を行った。	期待以 上 14点	早期からの療育支援を図る体制を継続している。アウトリーチ 支援も充実してきている。 訪問支援事業等により関係者の相互理解や共有を図られて いる。 施設や周辺環境整備が積極的に実施され、地域との関係 構築の取り組みが継続されている。	14点		

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微): △1、一部遅れ・不備あり(中程度): △2、一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	・提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり: 減点なし、対応等が期待以下(軽微): △1、対応等が期待以下(中程度): △2、対応等が期待以下(それ以下): △3	・指示等はなし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			87点	極めて良好
						施設閉所に伴い、最終年度の運営となったが、小集団療育や保育所等訪問支援など事業内容を拡充し、堅実な施設運営に努め、利用者の利益を最優先とした事業が実施されている点を高く評価するもの。	